

ちよだ旅情 vol.5 神田川

—こちらのコーナーでは、千代田区の地名や旧町名、名所、坂、橋などを紹介していきます。過去から現代へとつながる地域の歴史と記憶をめぐる小旅行へと出かけましょう。

神田川は、井の頭池を主な水源とし、かつては江戸の町に飲料水を供給する上水としての機能を持っていた一級河川です。神田上水は関口の大洗堰で二流に分かれ、上水は水戸藩上屋敷の池泉を潤した後に水道橋掛樋を渡って江戸市中に給水しています。その余水となる神田川下流域は、江戸時代初期の城下町造成に関連して整備が進められました。徳川家康が江戸に入府した当時、神田川下流は平川と呼ばれ、飯田橋付近から神田山(本郷台)に沿って南に向かい、現在の日本橋川に近い流路で日比谷入江(現在の丸の内から日比谷、新橋付近にかけて存在した江戸湾の入江)に注いでいました。元和2年(1616)、駿河から移住する幕臣の屋敷地造成のため駿河台の整備が行われた際、伊達政宗に命じて神田山を開削して東への流路を開き、江戸城外堀の機能を持たせました。神田山の開削で出た土で日比谷入江は埋め立てられ、江戸城下の大名屋敷や町人地が造成されています。開削当初の神田川は川幅が狭く、度々洪水を起こしたことから、その後、川幅の拡張や堤防の整備が進められ、万治4年(1661)、仙台藩主伊達綱村の普請により運河にも利用できる外堀として完成します。崖下に神田川が流れる御茶ノ水の人工渓谷は、その景観から「茗溪」(「茗」は茶、溪は「谷川」)、または、三国志の古戦場で名高い赤壁になぞらえて「小赤壁」と呼ばれ、数々の浮世絵に描かれる名所としても知られます。上水、外堀、運河、名所と様々な側面を持つ神田川は、千代田のみならず江戸の町に住む人々の生活に欠かすことのできない川でした。近年、神田川はクルーズツアーなどで脚光を浴びていますが、歴史や地域的な視点と合わせて見てみると、身近な神田川の新たな一面を垣間見ることができるでしょう。



神田川、御茶ノ水の雪景色 (二代広重「江戸名勝図会 昌平橋」国立国会図書館蔵より)

Interview Relay

シリーズ 千代田の学び人にあいたい vol.10

弦本卓也さん [弦本ビル オーナー]



前号の「学び人」有限会社 神田豊島屋・取締役社長の木村倫太郎さん(左)からご紹介いただき、今回は、弦本ビル オーナーの弦本卓也さん(右)にお話を伺いました。



木村さんからのご質問「神田の街の現在のイメージと、そのイメージがこれからどのように変わっていくと思いますか?」

不動産に関する仕事をきっかけに、新しい暮らしを体験したいと思っていた時、このビルを紹介いただき、購入しました。当時20代だったので、同年代で面白い人を集めて楽しめる場所にしたいと、まずは仲間集めから始めました。最初は伝手を辿っていましたが、今では友が友を呼ぶように仲間が集まっています。元々は白い壁でしたが、みんなでどういう場所にしたいか話し合い、壁をはがしたりペンキで塗ったり、場所づくりから始めました。このビルには、1階に飲食店、2・3階に仕事やイベントのできるスペース、4・5階に住居があり、「食べる・住む・働く」が一体となったコミュニティができています。弦本ビルの仲間たちの活動をインタビュー形式でまとめた本も出版しました。「読む・書く・会いに行く」というコンセプトで、仲間たちの活動を読み、自分のやりたいことを見つけるワークシートに書き、最後にこの本を持って、弦本ビルに来るとその人たちに会えるというものです。

神田の街は新しいものと古いものが共存していますが、新旧融合のしやすい街だと思います。このビルも古いけれど新しい。築40年が、アイデア次第で活用できて新しくなっていく。2階のワーキングスペースには、現在約30人の会員がいて、働きながら副業として活動している人、独立している人、地方から来た人などさまざまです。アクセスも良く、地域の方々の交流が生まれるハブのようなところに、もっとなっていくと思います。新しいものと古いものが混ざりあい、さらにいろんな地域の色も混ざっていく。さまざまなバックグラウンドを持った人たちが集まることで、今までになかった出会いがあり、新しいものが生まれていく。そんな魅力があるのが神田という街なのではないでしょうか。古きと新しきが交わる神田、そして弦本ビルに、ぜひ遊びに来てください。



編集後記 ▶▶▶ DanDan 編集室 永易

今回の特集では、担当した講座を取材させていただきました。企画をいただいて、打ち合わせから講座、そしてサークルの立ち上げまで、改めて紙面に起こしてみると感慨深かったです。新規サークルで、これからも盛り上げていただきたいです!

交流しよう! 挑戦しよう!

今年度は「交流しよう! 挑戦しよう!」をテーマに、生涯学習を通して人と交わり様々なことに挑戦しています。



講座ができるまで

九段生涯学習館では年間を通して様々なジャンルの生涯学習講座を開催しています。「区民自主企画運営講座」「人材バンク活用講座」は、生涯学習の一環として講座を企画したい方、また講師として活躍したい方が講座を開講できるチャンスです。年に1回、講座の企画案を募集し、審査を経て開講しています。今回は令和元年度に実施した講座を例に、講座ができるまでの流れをご紹介します。

▶人材バンク活用講座—講師応援型

人材バンク登録者の知識、能力を区民の生涯学習活動に活かし、人材の育成を図るとともに、その後のサークル結成など、自発的な学習活動にもつなげていく講座。

人材バンク登録制度

千代田区在住・在勤・在学者(条件や技量によっては区外の方も可)を講師登録し、サークルなどに紹介する制度。

▶区民自主企画運営講座—サークル応援型

千代田区在住・在勤・在学の5名以上で構成する団体が企画した講座を実施し、区民の自発的な学習意欲を喚起するとともに、サークル活動を推進することを目的とした講座。

サークル活動

生涯学習を目的として団体を結成し、自主的に生涯学習活動を行うこと。九段生涯学習館はサークル活動の活性化を推進しています!

もくじ

- ① 特集 | 講座ができるまで 「人材バンク活用講座」「区民自主企画運営講座」
- ② 時と土地をめぐる ちよだ旅情 | 神田川
- ③ シリーズ | 千代田の学び人にあいたい 弦本ビル オーナー 弦本卓也さん

特集 / 講座ができるまで

令和元年度に実施した講座を例に、企画から講座終了後までの流れをご紹介します

参考講座

▶Case1 人材バンク活用講座

「初めての楊名時太極拳—動いて学ぶ平常心—」



〔講師〕早川禮生（楊名時 八段錦・太極拳師範/日本健康太極拳協会会員）

〔日程〕令和元年 8/31、9/14・28

全3回・いずれも土曜日 14:00-16:00

▶Case2 区民自主企画運営講座

「はじめてでもできる!ハワイアンキルトでポーチを作ろう」



〔講師〕早川綾子（ハワイアンキルト教室 Maikai Kapa Kuiki O Hawaii 代表）

〔日程〕令和元年 7/20、8/3・24、9/7・21

全5回・いずれも土曜日 14:00-16:00

Step1. 企画応募

九段生涯学習館では、年に1回、講座の企画案を募集します。所定の企画書を作成のうえ、締切までにご提出いただきます。その後、書類審査・面談を経て、採用される講座が決定します。

企画意図

「初めての楊名時太極拳—動いて学ぶ平常心—」講師より



初心者の方に太極拳について興味をもていただきたいと思い、歴史・効能・呼吸法についてご説明するとともに、実際に動いて体験してもらいたいと思い講座を企画しました。

人生を豊かに生きるために、心も身体もいきいきとすることが大切です。生涯の健康法として太極拳を、参加者の方々の日々の生活に取り入れていただけると幸いです。

Step2. 打合せ

▶講座開講 約3ヶ月前

担当スタッフとの打合せにて、講座の詳細を決定していきます。人材バンク活用講座は講師ご本人と、区民自主企画運営講座は企画者と講師の両名にお越しいただきます。

決定する主な内容

- ①講座内容およびタイトル ②開講日時 ③会場 ④教材・材料 ⑤費用 ⑥定員 ⑦参加者の持物 ⑧配布資料 ⑨使用備品 ほか



Step3. 広報活動

▶講座開講 約2ヶ月前

打合せにて、より効果的な講座タイトル、内容など広報に使用する文言を検討します。それをもとに、広報活動を展開します。

企画者の広報活動

ポスター原案を作成します。担当スタッフが仕上げ・入稿・印刷を行います。

実際に完成したポスターです。
先生の道着写真が素敵!



九段生涯学習館の広報活動

- ①千代田区報へ掲載
②ポスター掲示（区内掲示板50〜60ヶ所、区立施設約30ヶ所）
③九段生涯学習館ホームページ・フェイスブック・ツイッターへ掲載

Step4. 募集開始・講座準備

▶講座開講 約1ヶ月前

広報の準備も整い、いよいよ講座参加者の募集開始です。それと並行して講座の準備を進めます。

企画者の講座準備

①教材準備：講座で配布する資料を作成します。資料の印刷は当館で行います。

②材料準備：「はじめてでもできる!ハワイアンキルトでポーチを作ろう」では、申込時に「モンステラ」「サンライズシェル」「ハイビスカス」から、制作したいキルトをお選びいただきました。当選者の希望に応じて、講師が制作用のキットを準備し、完成のイメージができるよう、見本も用意しました。



九段生涯学習館の講座準備

- ①申込受付
②申込締め切り後、抽選
③当選者へご案内を送付

Step5. 講座開講

▶講座開講 当日

企画者には、会場設営や資料配布など講座の準備・運営をお願いします。初回の講座ではアンケートを取り、参加者のご意見を次回以降の進行に取り入れます。

「はじめてでもできる!ハワイアンキルトでポーチを作ろう」担当より

少人数のグループにわかれ、きめ細やかな指導・進行ができました。会場にはハワイアンミュージックも流れ、サークルの雰囲気も伝わり、和やかな時間となりました。

「初めての楊名時太極拳—動いて学ぶ平常心—」講師より

第1回目は「難しかった」という声もあり、少し早足になりました。回を重ねるごとに参加者の表情がやわらいでいき、最終回の通し稽古では、ゆったりした音楽に身をゆだねて非常にいい「気」が流れているのを感じました。



Step6. 講座終了後 その1

▶講座終了後

「講座終了報告書」をご記入のうえ、ご提出いただけます。

振り返り会への参加

「区民自主企画運営講座」「人材バンク活用講座」は、サークルのみなさま、講師のみなさまにおかれましても、学びの場として共有いただく機会になればと思っております。同年度携わっていただいたみなさまと一緒に、振り返り・共有の場を設け、交流いただくことで、今後の生涯学習として活動する場を広げ、繋げていただければと思っております。

「はじめてでもできる!ハワイアンキルトでポーチを作ろう」より



毎回さまざまなハワイアンキルトの作品を先生がご用意くださいました。最終回は、ハワイのフレーバーコーヒーを飲みながら、完成した作品を鑑賞しました。

Step7. 講座終了後 その2

▶既存サークルへのお誘い・サークルの発足

ここから自主活動のはじまりです! 継続して学びの機会を増やし、豊かな暮らしにつながる生涯学習をお楽しみください。

「初めての楊名時太極拳—動いて学ぶ平常心—」講師より



サークル発足の規定人数(5名)を超える入会希望があり、新しいサークル「楊名時八段錦太極拳無極会」が立ち上がりました。毎週土曜日、九段生涯学習館で活動しています。

「はじめてでもできる!ハワイアンキルトでポーチを作ろう」より



新たに入会希望があり、既存サークルへの入会も可能でしたが、活動しやすいよう、新規サークルを立ち上げ、活動しています。